

## 教職大学院 GP 第2回ワークショップ

平成19年11月16日

岡山大学教育学部講義棟／5101講義室

### 講演1 「教員養成における地域協働学校と大学との関係について」

講師 若井田 正文（東京都世田谷区教育委員会教育長）

世田谷区地域協働学校の取り組みの紹介とともに、教員養成における地域協働学校と大学のあり方について提言していただいた。また、東京都教育委員会の教職大学院についての考え方についてお聞きした。



パワーポイントの資料を提示して、世田谷区の概況、地域協働学校での具体的な取り組み、協議会の内容・構成など、地域とともに子どもを育てる教育について説明して頂いた。

教職大学院については現職の派遣について、ストレートマスターの共通カリキュラムの内容について詳しくお話を伺った。

### 講演2 「今求められる教育実践力育成に向けた大学教員の意識改革」

講師 高岡 信也（島根大学教育学部長）

教職大学院という視点から、今求められる教育実践力とは何か、そして、その育成に関わる教員養成大学のあり方や教員の意識について提言して頂いた。島根大学教育学部「三位一体改革」が担う地域教育改革の推進と山陰地域教師教育システムの構築と題した資料を提示され、中教審が示す教育諸制度の改革に対応するため、地域社会の新たな教育ニーズに対応するための取り組みなどについての話を聞く事ができた。

1000時間体験学修による豊富な学校と子ども体験の実践例や、その他大学の取り組みを、時折ユーモアを交えながら講演される高岡学部長。終始和やかな雰囲気での講演が進んだ。将来的には鳥取大学との連合教職大学院を設立するといった構想についてのお話もあった。



## ディスカッション



講演の質疑応答に加え、参加者全員でのディスカッションを行った。世田谷区の地域運営学校での教員の負担の傾向、学校選択制をとらない宣言をした理由について、教員にどのような実践力が必要かなどについて討論が行われた。

また、当日参加されていた岡山市立の小学校の校長先生より、地域協働学校での具体的な取り組みや、現状なども報告して頂いた。